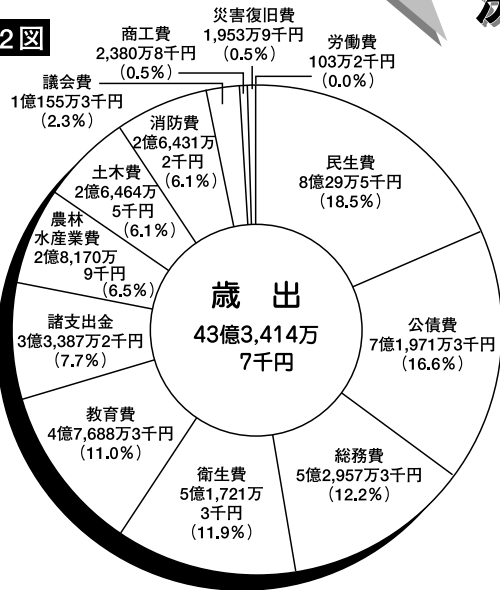


平成15年度決算

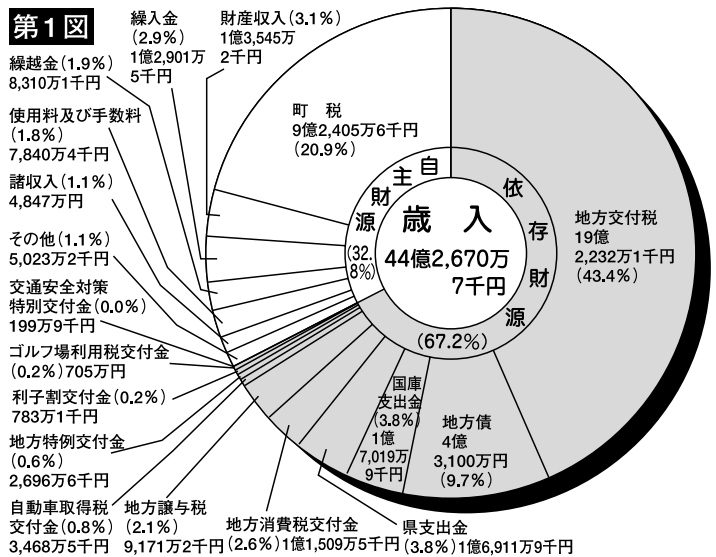
一般会計

決算額 43億3,414万6,519円

第2図



第1図



《歳出の内容》

歳出総額は、十四年度決算額（四十五億三千七百九十万七千七百十二円）に比べて二億三百七十六万五千九百三十三円、四・五%の減となりました。

目的別歳出の内訳は第2図のとおりですが、構成比が最も高いのは民生費で、歳出総額の十八・五%、次いで公債費十六・六%、総務費十二・二%、衛生費十一・九%、教育費十一・〇%の順となっています。

民生費は社会福祉、児童福祉、

《歳入の内容》

歳入総額は、十四年度決算額（四十四億二千六百七十七万七千七百五十九円）、歳出総額四十三億三千四百四十六万五千五百九十九円、歳入歳出差引額九千二百五十六万二千二百四十円の黒字決算でした。

歳入総額は、十四年度決算額（四十六億二千五百四十一万九千九百九十八円）に比べ一億九千三百八十三万四千二百三十九円、四・二%の減となりました。

その内訳は第1図のとおりですが、地方交付税を始めとした依存財源が六十七・二%を占め、町税等の自主財源は三十二・八%となりました。

老人福祉のための各種経費が主なもので、人件費、貸付金が減少しましたが、扶助費、補助費等が増加したため、民生費全体としては、前年度より四・〇%の増となりました。

公債費は、町が前年度までに借り入れた町債の償還にあてるための経費で、前年度より二・二%の減となりました。

総務費は、選挙、情報化推進にかかる経費等の増により、前年度より二・八%の増となりました。

衛生費は、伝染病予防、火葬場、公立小野町地方総合病院、ごみ・し尿処理のための経費が主なもので、前年度より一・七%の減となりました。

教育費は小中学校の振興・管理経費、社会教育及び社会体育に関する経費が主なもので、前年度より一・四%の減となりました。

諸支出金は財政調整基金、公共施設等建設準備基金等の各種基金への積立、特別会計への繰出しが主なもので、財政調整基金等への積立増により、前年度比十四・七%の増となりました。

農林水産業費は農林業の振興のための各種経費が主なもので、前年度より一・五%の減となりました。

土木費は町道の維持管理、舗装新設改良等のほか、住宅管理、

災害復旧費は、平成十五年年度に大きな災害の発生がなく、前年度より九十一%の大幅な減となりました。

このほか、議会費、労働費、商工費、消防費において、定住と交流と快適環境のまちづくりの実現のための各種事業を実施しました。

河川、都市下水路の管理、都市計画に関する経費が主なもので前年度より十二・九%の減となりました。

田村広域行政組合地域イントラネットで整備した学校の情報機器



田村広域行政組合地域イントラネットで整備した学校の情報機器

町民ひとり当たりの町税負担額
平成16年
3月31日現在
(人口12,208人)
75,693円
(町税決算額：
9億2,405万6千円)
※人口：福島県現住人口調査